



2023年6月28日

各 位

会 社 名 **株式会社 ヨロズ**  
横浜市港北区樽町三丁目7番60号  
代 表 者 名 代表取締役社長 平中 勉  
(コード番号 7294 東証 プライム)  
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 平野 紀夫  
(TEL:045-543-6802)

### プライム市場上場維持基準の適合に向けた計画書提出のお知らせ

当社は、2023年3月時点において、プライム市場における上場維持基準を一部満たさない状態となったことを受け、上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2023年3月31日基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており流通株式時価総額について基準を満たしておりません。当社は、今後の持続的な成長と企業価値向上の実現のためには、プライム市場に上場維持することが必須であるとの認識から、今回不適合となった流通株式時価総額を安定的に充たすための各種施策を2025年3月期末までを計画期間とし、取り組んでまいります。

	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 2023年3月31日時点	121,500 単位	91.83 億円	48.4%
上場維持基準	20,000 単位	100.00 億円	35.0%
計画書に記載の項目		○	

※1. 当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

プライム市場上場維持基準の適合に向けた「流通株式時価総額」の向上にかかる取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容については、添付の「プライム市場上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を基に作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上

# プライム市場 上場維持基準の適合に向けた 計画書

2023年6月28日

株式会社ヨロズ (証券コード7294)

<https://www.yorozu-corp.co.jp/>

- I. 上場維持基準の適合状況および計画期間
- II. 上場維持基準適合に向けた基本方針
- III. 課題および取り組み内容
  - 1. 中期経営計画の2023年度重点取り組み
    - (1) 成長の核となる「新技術・新工法」
    - (2) 拡販の中心拠点「東海新工場」
    - (3) 成長基盤となるESG経営の推進
  - 2. 企業価値向上に向けた財務戦略と資本政策
  - 3. 流通株式比率の向上への取り組み
  - 4. IR・広報戦略

## 上場維持基準の適合状況

当社の2023年3月31日基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」が91億円となり、基準を充たしておりません。

	プライム上場基準	当社	適合状況
流通株式数	20,000単位	121,500単位	適合
流通株式時価総額	100.00億円	91.83億円	不適合
流通株式比率	35.0%	48.4%	適合

## 計画期間

当社は、プライム上場維持基準を充足するための計画期間を2025年3月末までとし、進行中の中期経営計画（YSP2023）に沿い、不適合となった流通株式時価総額を安定的に充たすための諸施策に取り組んでまいります。

注) 2024年度以降の取組みは2024年に開示予定の「次期中期経営計画」（FY24-26）で公表いたします。

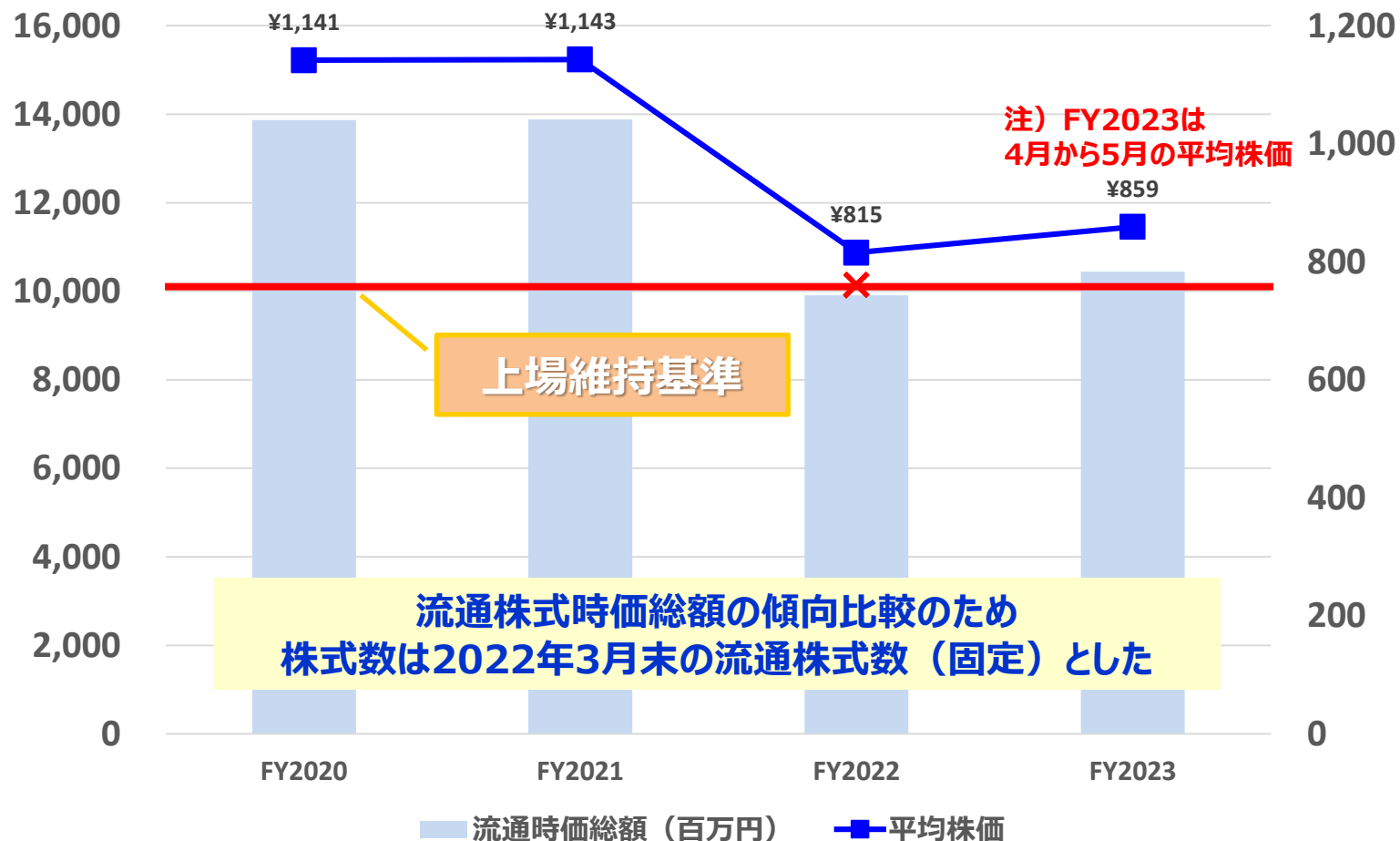
# I. 上場維持基準の適合状況および計画期間

## 課題認識：流通株式時価総額推移

### 株価と流通株式時価総額

流通株式時価総額  
(100万円)

年度別平均株価  
(円)



流通株式時価総額

株価  
×  
流通株式数

当社にとっては  
株価上昇が優先課題  
加えて  
流通株式数の増加を  
検討する

# 基本方針

**中期経営計画に基づき、新技術・新工法を強みとした拡販に向けた新たな成長戦略の構築と、経営基盤の強化に向けたE・S・G経営の重点施策に取り組みます。**

**加えて企業価値向上に向けた財務戦略と資本政策により、株価上昇及び流通株式の増加を図り、流通株式時価総額の増大を目指します。**

**更に、積極的なIR・広報活動等の充実により、当社グループの中長期的かつ持続的な成長と企業価値の向上を目指します。**

# Ⅲ. 課題および取り組み内容(2023年度重点施策項目) YOROZU

次期中期経営計画へ (FY24~FY26)

**電動化時代に確固たる存在感を示す**  
ヨロズの成長戦略の構築と具体的な道筋をつける

成長基盤

E: 環境配慮

→ **カーボンニュートラル**

S: 社会的責任

→ **ダイバーシティ**

G: 透明性、ステークホルダーとの対話

**株価上昇**

中期経営計画  
YSP2023  
(安定した収益)

成長戦略

成長の核

→ **新技術・新工法  
と拡販**

攻め

→ **東海地区 新工場**



## (1) 成長の核となる新技術・新工法

※中期経営計画の実績の詳細は[こちら](#)にてご覧いただけます。

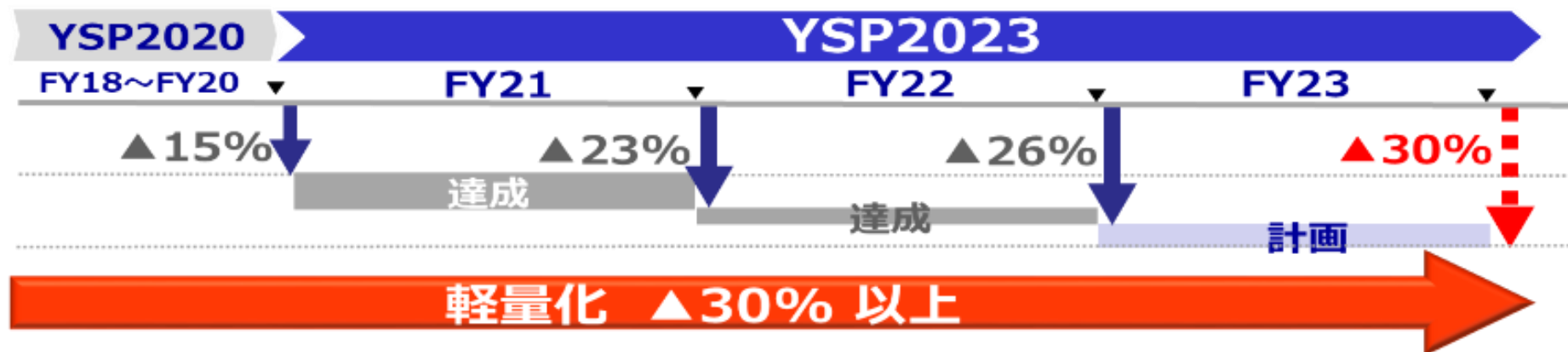
### 取り組みの方向性

#### ■ CO2排出量削減に寄与する鉄製品の提案力強化

- ・新プレス構造アーム
- ・材料置換アーム
- ・新設計バーリング構造
- ・マルチマテリアル構造

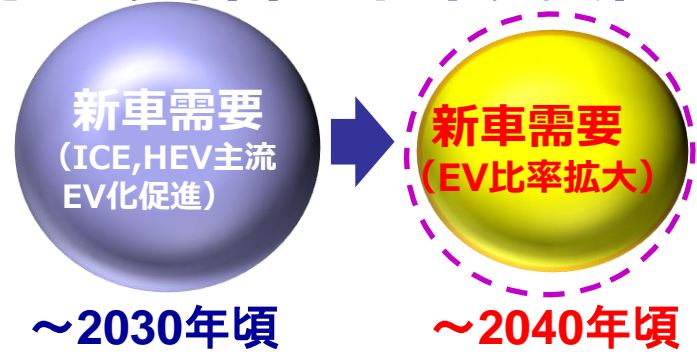
#### ■ 超ハイテン材（980MPa）の製品化による軽量化

#### ■ EVに要求される静粛性向上への対応



## 中期経営計画の先に向けた新たな取り組み

### 予想する自動車環境変化



### オポチュニティ

- ・EV化技術要求の高度化 (重量・音振)
- ・電動化関連部品の増加

### 脅威

- ・自動車生産台数の減少
- ・分業構造の変化 (垂直型 → 水平型)

- ・脱炭素化社会実現に向けEV比率向上
- ・Maasの進展で「所有」から「共有」へ

自前の技術開発をベースに  
「共同開発を含めた協業体制の構築」

- ◆ 超ハイテン(980MPa)材 適用拡大に向けた技術の深化
- ◆ 自動車部品の新商品開発
- ◆ 新素材の新商品開発
- ◆ 非自動車部品への参入技術

## (2) 拡販の中心拠点「東海新工場」

4つの取り組みを**企業の競争力**として訴求し**電動車製品の拡販へ**

### 新工場の目指す姿

「**環境**」に徹底的に配慮 「**製品力**」で電動化へ貢献

「**地域**」との共生 「**CS/ES**」誇れる拡販拠点

### ヨロス愛知での電動車向け製品

トヨタ bZ4X SUBARU SOLTERRA

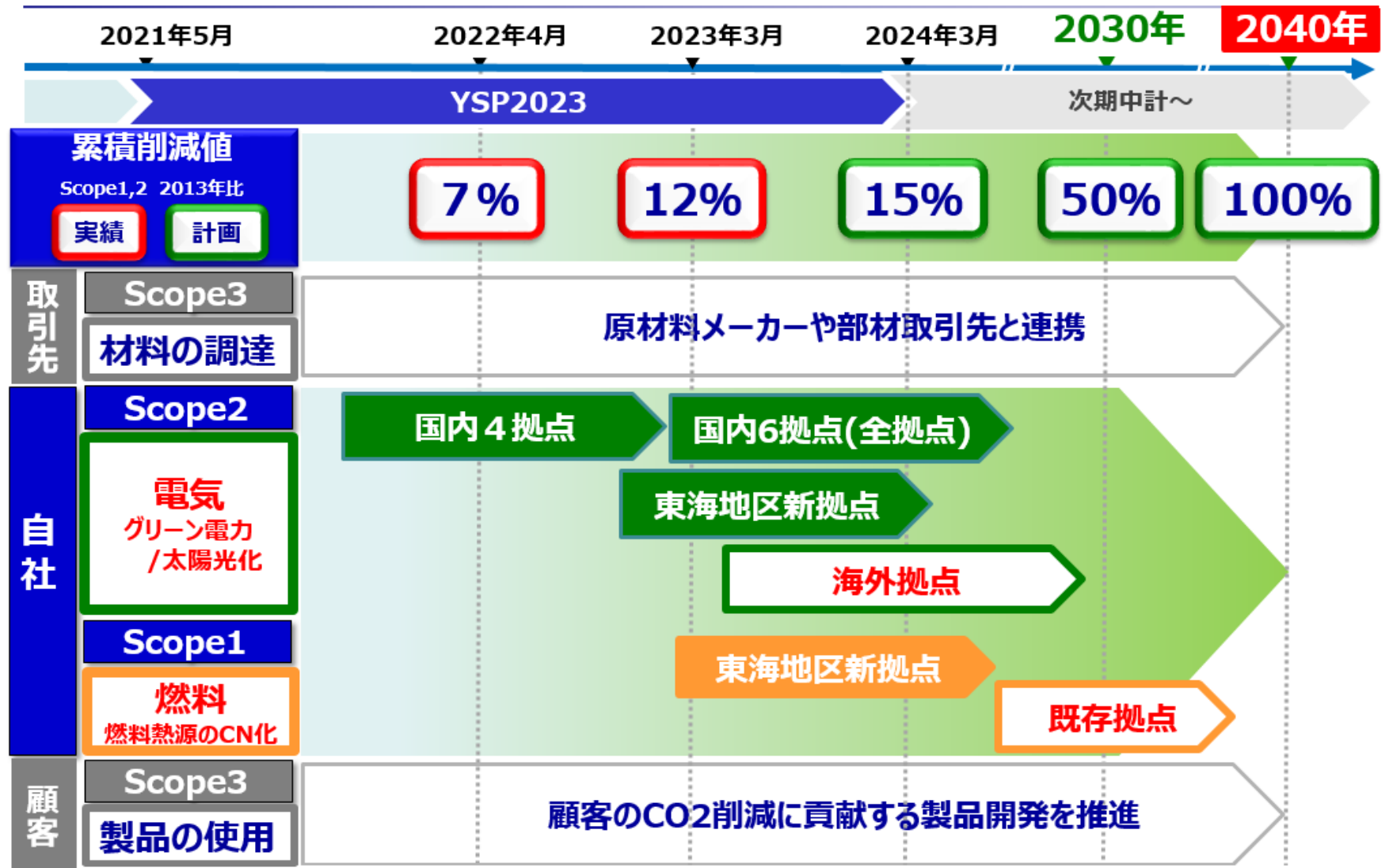
2021年

2024年

2027年以降

東海地区新工場

## (3) 成長基盤のESG経営① E：環境 カーボンニュートラルロードマップ



計画前倒しで進捗中

**Scope 2:**

- 国内拠点グリーン電力 100% (~24年度中)
- 海外拠点 各国事情に合わせ推進中

**Scope 1:**

- 東海新工場100%CN化
- 既存拠点 (国内) 低炭素化燃料検討に着手

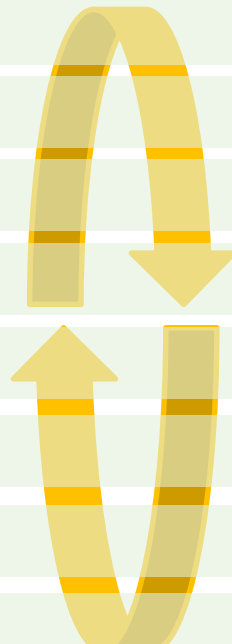
**Scope 3:**

- 国内取引先との協業開始

## (3) 成長基盤のESG経営②S：社会 人権デュー・デリジェンス活動

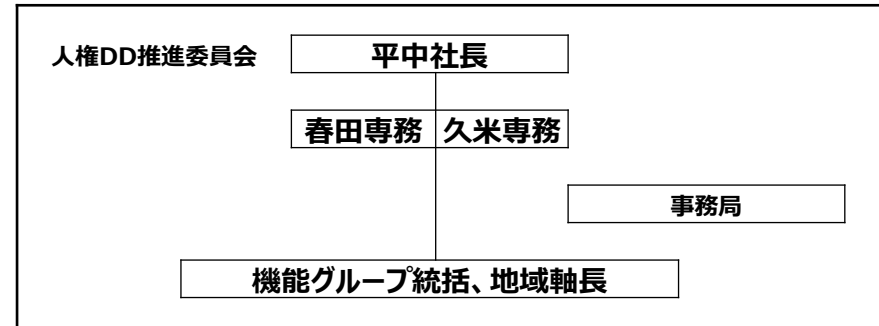
### 取り組み目標 人権への負の影響を防止・軽減する社会的責任の履行

#### ◆実施フロー

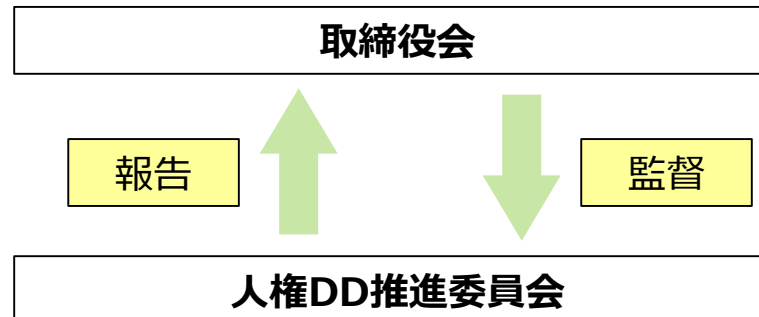
- 
- ① 人権方針の策定・開示
  - ② 自社の潜在リスクを特定
  - ③ 救済措置
  - ④ 影響特定と評価
  - ⑤ 是正への取り組み
  - ⑥ 予防・軽減
  - ⑦ モニタリング
  - ⑧ 情報開示

※OECDデュー・デリジェンス・ガイダンスに準拠

#### ◆組織体制:人権DD推進委員会



#### ◆監視体制



#### 委員会体制で推進

ヨロズは、「人権への負の影響を防止・軽減する社会的責任の履行」を目標に掲げました。人権デュー・デリジェンス活動の実施フローを確立させるとともに、社長をトップとした「人権デュー・デリジェンス推進委員会」体制で推進します。あわせて取締役会への定期的な報告などの監視体制の強化を図ってまいります。

## (3)成長基盤のESG経営 ②S：社会 ダイバーシティ 採用・育成・活躍

	FY22	FY23
女性活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラチナえるぼし認証（継続）</li> <li>・女性面談</li> <li>・女性幹部候補者向け研修</li> <li>・一般職向けキャリア研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラチナえるぼし認証（継続）</li> <li>・キャリア研修（技術系）</li> </ul>
男性育児休業取得促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職向け理解促進研修</li> <li>・職場環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くるみん認証申請（4月）</li> <li>・取得対象者へのヒアリング</li> </ul>

### 人的資源の最適化

ダイバーシティ戦略として、採用・育児・活躍に資する各種人事戦略を実施しております。

2023年度からは、「タレントマネジメントシステム」を導入し、人財ポートフォリオを把握した上で、経営戦略に整合した人事戦略の構築に取り組んでまいります。コンピテンシーや経歴を踏まえた適材適所の人財配置に繋げ、教育やリスキリング等の機会を通じて、個人のキャリア形成をはかってまいります。

また、必要に応じて外部から人財を確保し、経営戦略を具現化するための人的資源を強固にしております。

### タレントマネジメントシステムの導入

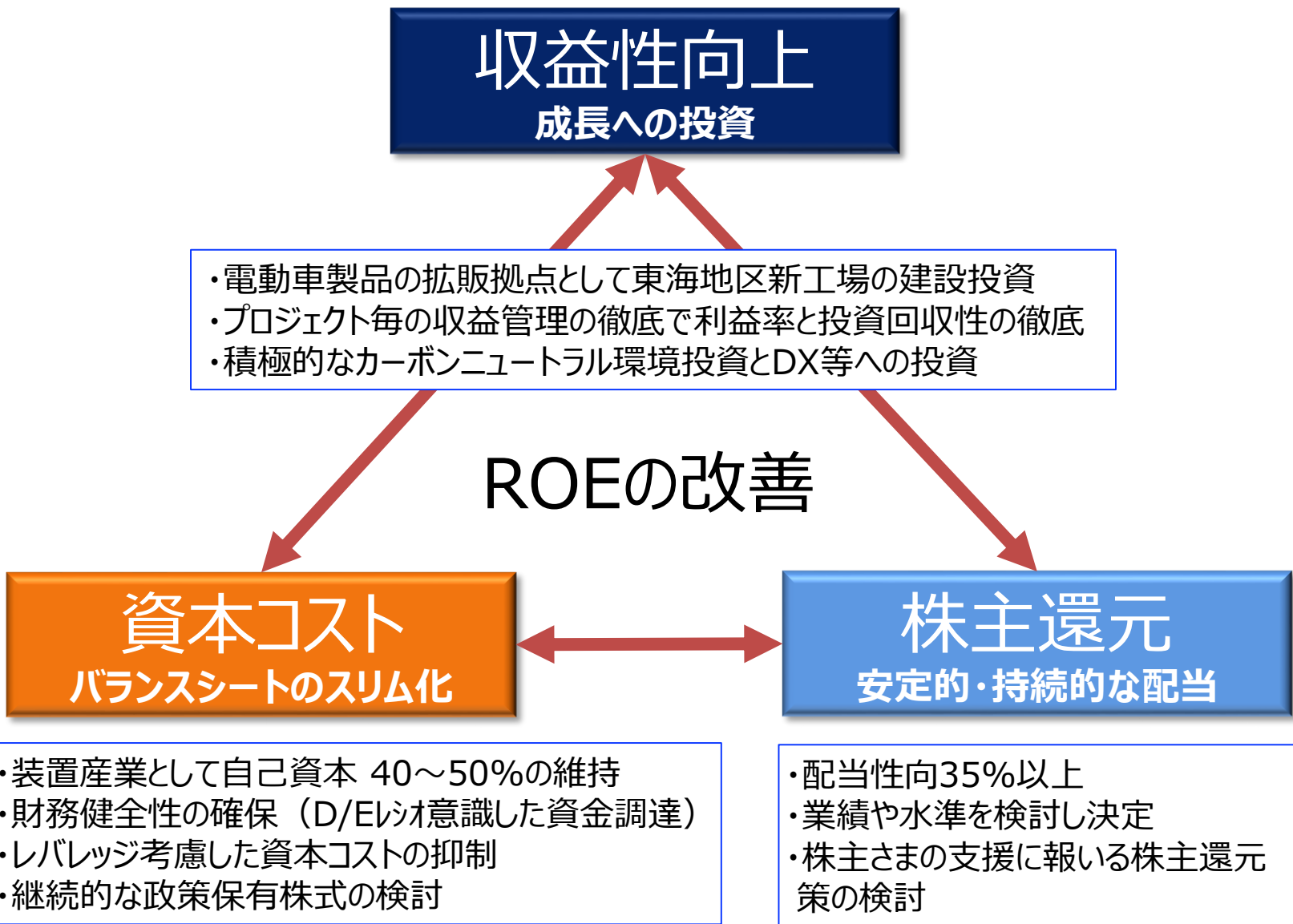


- ・個人プロフィール
- ・評価記録
- ・1on1面談記録
- ・研修受講記録
- ・ESサーベイデータ

経営戦略に沿った  
人的資本の価値向上

今後も「この会社ですっと働きたい」、「この会社にいられて良かった」と全従業員1人1人に感じてもらえるような職場づくりを目指して取り組んでまいります。



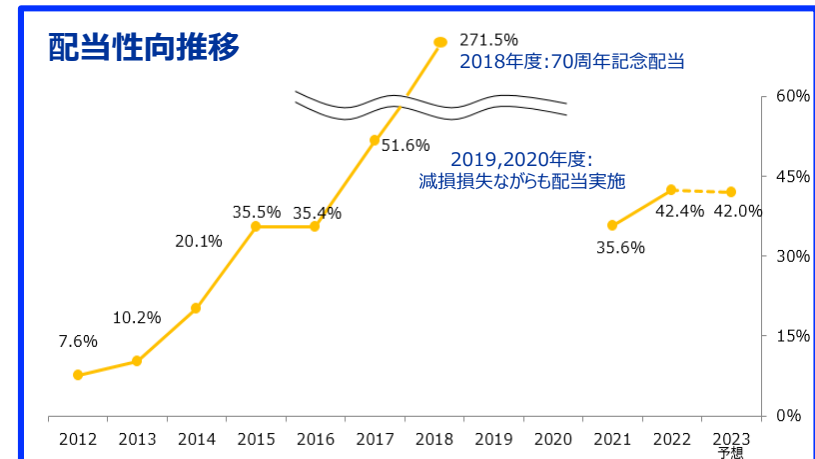


YSP2023	FY23目標
営業利益率	5%
ROE	8%

自動車生産台数の不透明性やエネルギーコスト増等、事業環境は厳しさをましており、達成は厳しい状況

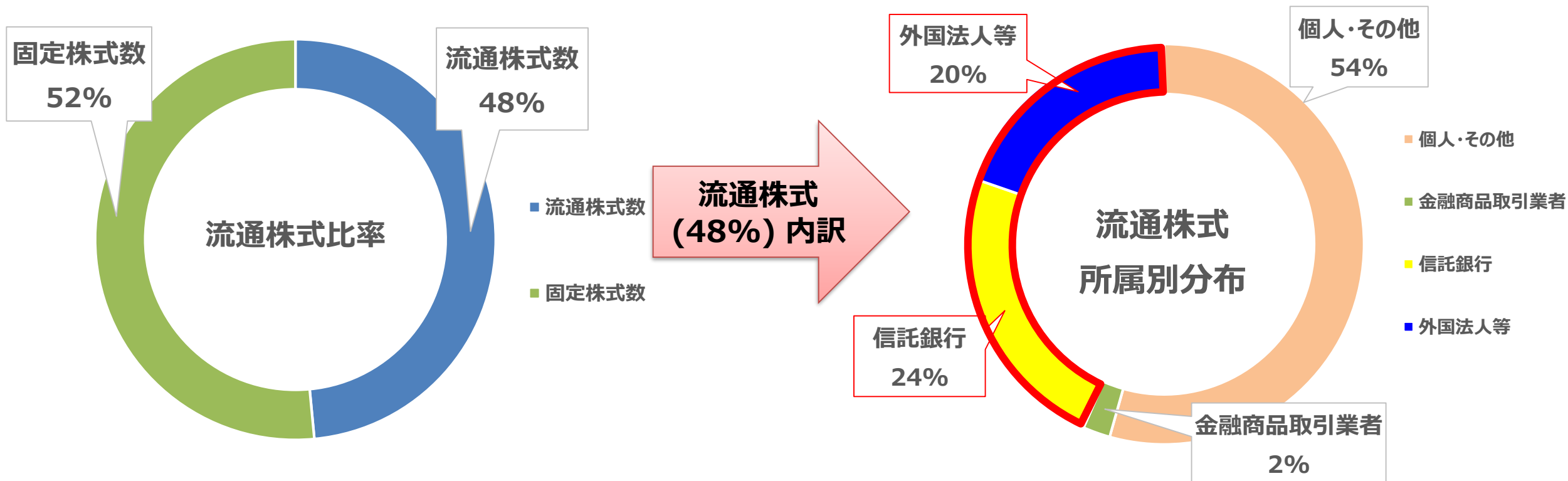
## 変化に強い健全体質への取り組み + 将来の成長に向けた財務戦略

- ・ **将来の成長に向けた積極投資**
- ・ 合理化・投資削減による固定費のスリム化
- ・ バランスシートのスリム化による総資産回転率向上の継続
- ・ 健全な財務体質の維持



# Ⅲ-3. 流通株式比率の向上

流通株式時価総額の充足に向け、流通株式比率の引き上げに取り組みます。  
海外法人や信託銀行などの機関投資家との建設的な対話により保有株式の増加を目指します。



機関投資家との建設的対話による保有株式増加の促進



当社への理解や信頼を高めていただくため、株主さま、投資家さまへのIRの積極展開いたします。投資家向けのIR取材やSR面談など、積極的な対話の実施に加えて、コロナ禍で停止していたIRイベントの再開等を通じて、より当社の活動内容についてご理解いただける機会を増やしてまいります。

### IR活動の強化

当社の認知度のUP、当社と当社ビジネスをより理解して頂けるよう強化を図ってまいります。

#### IRイベントのWEB化

株主総会、決算説明会のオンデマンド配信を実施しております

#### 工場見学会の再開

アナリストおよび株主さま工場見学会の再開の検討してまいります

#### 機関投資家との対話の強化

従来の英文開示を更に充実させるとともに、建設的な対話の増加を図ります

#### PR活動の強化

適時開示事項以外のPR開示についても従来よりも積極的に行ってまいります

以上